

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 3月14日

事業所名 児童発達支援センターわくわくキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・人数が多い場合には、数を減らすなど工夫をしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・掃除はこまめに行っているが、エアコンなどは業者に掃除して頂きたい。 ・療育終了後、各部屋の衝動を行っている。	・感染症等の予防を継続して実施していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・支援前、後に振り返りを行っている。 ・業務や勤務時間の都合で振り返りに参加できない人もいる。	・振り返りノートに記入し、送迎や勤務時間の都合で参加できない人への周知を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・意見箱の設置、前年度の評価を参考に改善に努めている。 ・都度化にかががあれば対応している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・結果は公開しているが、改善の内容は公開できていないと思う。 ・HPがより活用されるとよいと思う。 ・HPの運営については、改善が必要だと感じる。(情報が古い、ツールが活用されていない)	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%	・第三者が誰か、また、外部評価の結果について、内部への告知があったか不明。 ・現在は行っていない。 ・以前行われた。 ・外部評価機関がない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・希望したものに参加させていただいている。	・職員の経験年数に応じて必要な研修を年間で予定していく。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・サポートセンターの相談会の結果を参考にしている。また、初回利用より評価キットにてアセスメントを実施。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・年長児の就学では田中ビネーの実施を行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・連絡帳でのやり取りや必要に応じて面談の実施、療育参観等で様子を見てもらうことで家族と情報を共有している。 ・送迎時や、保育所等訪問時に園から相談を受けている。また、まだ療育に繋がっていない家族への親子教室を開催している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し ている	100%	0%		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・朝のミーティングにて当日の利用児の支援について全員で共有している。	・送迎等で参加できない職員もいるため、申し送りノートを使用し、共有を図っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	91.7%	8.3%	・必ずではないが時間取るように心がけている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・気になることがあった時はどんな形でもいいのでメモを取るよう心がけている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・必要時、子育てサポートセンター等行政や関係機関との連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	・対象児なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	・対象児なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・入学支援会議への参加、入学支援シートの記入を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83.3%	16.7%	・わからない。 ・コンサルテーションや研修を受けている。 ・年2回コンサルテーションを受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	83.3%	16.7%	・保育所や幼稚園に所属している。 ・概ねキッズと園を並行で通園しており、子どもたちが園で他児と安定して関わることができている。	・併用通園を行っていないお子さんが地域の保育所等と関わりをどう作っていくか、対応策を模索していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	91.7%	8.3%	・管理者が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳で主に共通理解を図っている。もしくは、お迎え時に都度対応している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	91.7%	8.3%	・保護者学習会を開催している。 ・学習会やペアレントプログラム等で保護者同士の関わりがある。 ・本年、お母さま方のおしゃべり広場を開いた。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・キッズ通信(毎月)の発行や連絡王の活用で発信を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	91.7%	8.3%	・わくわくウォークラリーの開催 ・冬のイルミネーション	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・避難訓練(毎月)の実施。 ・キッズ通信を用いて適宜お知らせしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・メーリングリストの作成、運用。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・年に1回フェイスートで確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・食べ物アレルギーの有無をチェックして一覧表で管理している。 ・医師の指示まで必要な対象児はいないが、アレルギー対応はしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	91.7%	8.3%	・事例集はないが、報告書は都度作成し、まとめている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・毎年研修や報告研修を受けている。 ・職員向けのアンケートを実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・身体拘束、虐待については研修を受け、非常時の流れと記録の仕方について確認した。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。